

## 国際支援への連携確認

世界中で緊急人道支援活動を展開する「Association of Medical Doctors of Asia (AMDA)」に所属する職員3人が来訪し、中田善亮・表統領らを表敬訪問した(写真)。



岡山市に本部を置くAMDAは、世界32カ国・地域に支部ネットワークを有しており、海外部「国際たすけあいネット」に寄せられた義援金の寄託先の一つにもなっている。

今回は、同団体

との仲介役を務めている平野恭助さん(59歳・道竹分教会長・岡山県里庄町)の案内で本部神殿で参拝した後、中田表統領と面談した。

一行は、今年9月に発生した「メキシコ中部地震」における活動内容を報告するとともに、近い将来、日本の太平洋側での発生が懸念されている「南海トラフ地震」への対応や準備策を説明した。

また、本教の災害救援ひのきしん隊の本部主事が、これまでの災害救援活動などについて説明し、今後連携していくことを確認し合った。

AMDAの職員で、看護

師としてメキシコでの救援活動に従事した山崎希さん(45歳)は、「メキシコでは、渡邊和喜郎・メキシコ出張所長にこまやかなサポートを頂き、心から感謝している。私たちの活動にはさまざまな方の支援が不可欠。『すべてのことに感謝し、喜んで生きる』という教えに、大いに共感した」とコメントした。